

平成 29 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 (自己評価)

法人名	社会福祉法人 上田しいのみ会	代表者	理事長 村上 恒夫
事業所名	小規模多機能型居宅介護施設 陽だまりの家	施設長	大橋 俊彦

法人・事業所の特徴	「全ての人が自立した幸せな生活を送ることを願い、社会福祉事業を通じて、その実現を目指します」という法人理念のもと、ご利用者一人ひとりの「思い」や「願い」を大切に、家族の「困った」にも応える介護を心掛けます。介護が必要になっても、住み慣れた自宅や地域で、家族や親しい人達と安心して生活ができるように、訪問・通い・宿泊サービスを柔軟に使い、その人らしい「生き方」「暮らし方」を実現します。
-----------	--

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 (1) 人	2 人	3 人	人	1 人	1 人	人	2 人	1 人	11 (1) 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・ミーティング・引継ぎの機会をしっかりと確保することで、利用者のことをもっと知り、全職員が共有できるようにする。	・ミーティング以外でも、業務日誌やフェイスシートで利用者の状況が確認できた。	・引継ぎなど口頭で言われることに頼っていたが、自分から積極的に知ろうという気持ちが大切。	・不明な点を積極的に確認し、利用者の情報を全員が共有できるようにする。 ・アンケートを行い、利用者の要望を介護や行事に反映する。
B. 事業所のしつらえ・環境			・誰もが入りやすい事と不審者の侵入対策は相反する部分もある。基本的に日中は施錠しない。 ・静かな環境で内部には、季節や行事に合わせた展示や飾りがあり、安心できる空間になっている。	・ボランティア活動や地域の集まりに交流室の利用などを呼びかけ、施設をもっと活用してもらおう。
C. 事業所と地域のかかわり	・地域のイベントに出ていく機会をもう少し増やしていく。(地域のイベントの情報収集) ・地域の子供たちとの関係づくりを行い、交流の機会を今まで以上に増やしていく。(作品交換などを通して) ・地域のボランティアを今まで以上に受け入れ、陽だまりの家を知って頂く機会とする。	・利用者が出ることができるイベントは限られる。 ・幼稚園児や中学生の訪問は、利用者に喜ばれるので、継続したい。	・地域の一般の方にはまだ施設が知られていない。自治会行事などなるべく声を掛けるので、参加して宣伝して欲しい。 ・包括支援センターと連携できることはもっとあると思う。	・施設を多くの方に知って頂く為に積極的に地域の行事やイベントに関わりを持つようにする。 ・包括支援センター、ヘルパーステーションなど身近な社会資源に問題や情報を伝え、互いに活用してゆく。

<p>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅サービスの利用が減少し、入所希望が増えている状況だが、ご家族の期待に応え、在宅での生活を支えられる信頼される施設を目指したい。</li> </ul>	
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進委員の皆様のご意見をお聞きして、施設の運営に反映させる。</li> </ul>	
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の防災計画を運営推進委員にも配布し、理解、協力をお願いしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防法に基づく消火避難訓練のほか、水害などの災害対応の訓練を行い、避難計画書を作成した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静かな環境だが、浦野川が増水氾濫する可能性がある。⇒危険箇所であるという事を市役所にも理解いただき、緊急連絡などお願いした。</li> <li>・火災関係の通報訓練や避難、消火訓練は、消防署で訓練の実施報告認めてくれるが、水害の避難訓練単独では、消防訓練報告としては認められない。</li> <li>・在宅の利用者は家族と連絡をとり、家まで送り届ける。帰れない利用者は室賀の里と協力し避難を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川が増水に対する災害避難訓練と、火災通報・避難訓練をそれぞれ行い、日頃から職員の意識を高める。(早めの判断と避難)</li> </ul>